



### 第8回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

#### 〈実施概要〉

**日程** 令和5年2月4日(土)～2月5日(日)

**会場** ステーションコンファレンス東京

**主催** 全国ユース環境活動発表大会実行委員会  
(環境省/独立行政法人環境再生保全機構/国連大学サステナビリティ高等研究所)

**後援** 読売新聞社

**協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)/地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)/ESD活動支援センター

**協賛** キリンホールディングス株式会社/協栄産業株式会社/SGホールディングス株式会社/株式会社タニタ



## 受賞校のみなさん、おめでとうございます！

昨年12月、全国8地方で地方大会が開催され、全国大会出場の16高校(団体)が選ばれました。全国大会に出場した高校(団体)は、いずれの活動内容も発表もすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。

### 環境大臣賞

#### 宮城県農業高等学校 作物部門

##### #ZEROマイプラ2

地元の砂浜には稲作で使われるプラスチック肥料の5mm程の残骸が大量にあり、海洋汚染を起していました。ウレアホルム肥料を使うことで、プラスチック肥料を使わない栽培法の構築に成功。商品化して通常よりも安くお米を作ることができます。プラスチック肥料を使わないことがJA全農で決定し、日本のプラスチック肥料をゼロにする活動に繋がったのです。



### 環境再生保全機構 理事長賞

#### 群馬県立藤岡北高等学校 環境工学部

##### 小川の未来を考える～地域連携・協働によるヤリタナゴ保護活動～

次世代へきれいで魚のたくさん生息できる豊かな環境を残すことが目標。市の天然記念物であるヤリタナゴの保護活動を地域と連携・協働で実施している。また、高校にタナゴビオトープを作成し、幼児や小中学生対象に年間約300人の環境教育に活用している。更に「ヤリタナゴ懇談会」を立ち上げ、啓発活動によりヤリタナゴ知名度は50%以下から80%に向上した。



### 国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

#### 熊本県立熊本農業高等学校 養豚プロジェクト

##### 廃棄豚脂の有効活用に関する研究 ～養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦～

食品廃棄物を利用したエコフィードの研究活動を続けてきましたが、本校で豚肉の豚脂を廃棄していることに気づき、廃棄豚脂の有効活用を図り廃棄ゼロを目指した活動をする事にしました。様々な挑戦の結果、市販に比べ1.7倍洗浄力が高い洗濯用石鹸が出来上がりました。養豚業におけるゼロエミッションを達成し、少しでも持続可能な生活を実現させたいです。



### 読売新聞社賞

#### 高校生エシカル推進委員会

##### 気候変動×楽しさ ～私たちが行動する意味～

気候変動の影響を一番受けるのは私たちの世代なので、私たちが中心となって行動を起こしていこうという理念のもと、イベントの企画や小中学校への講演会活動、ブース出展などを全て自分たちで考え、行動しています。兵庫県内を中心に全国に仲間があり、気候変動を解決したい想いは熱く、発信は楽しく。1人の100歩より100人の1歩を大切に活動しています。

